



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：文部科学記者会、科学記者会)

2022年3月24日
大阪市立大学

新型コロナウイルス感染症のパンデミックで脂肪肝が増加 -背景に夜食や欠食などの生活習慣の変化-

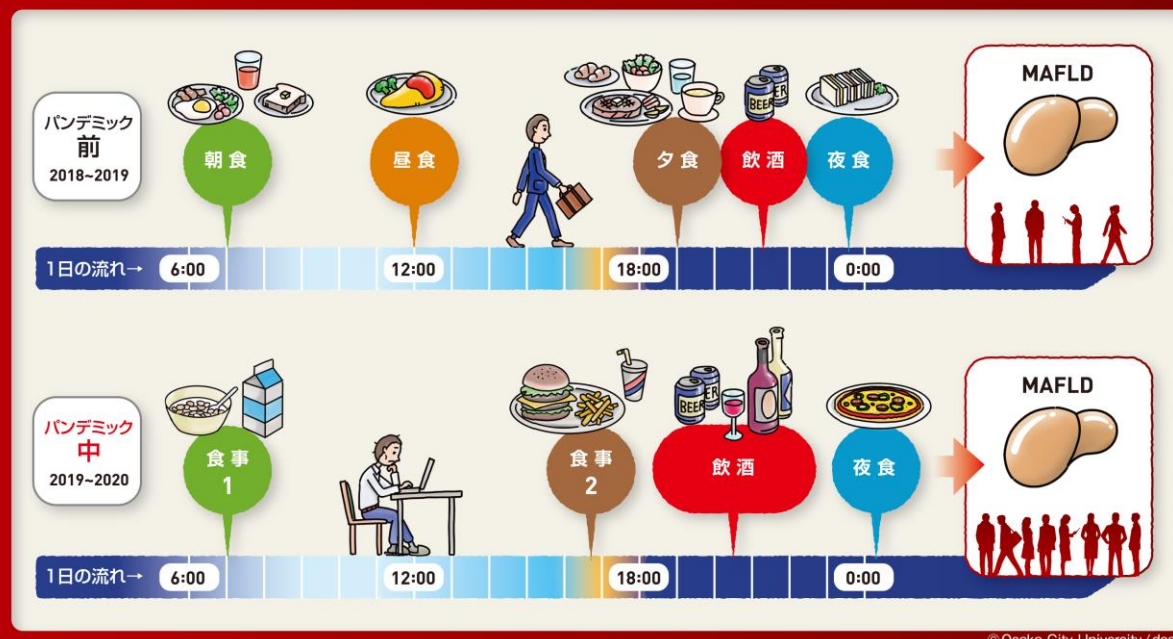
<本研究のポイント>

- ◇新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック前後で健康診断受診者のデータを解析した結果、代謝異常関連脂肪肝（MAFLD）の患者数が増加していることが判明。
- ◇MAFLD 患者増加には夜食・飲酒・欠食等が関連。

<概要>

大阪市立大学大学院医学研究科先端予防医療学の藤井 英樹講師、渡辺 俊雄教授、肝胆膵病態内科学の河田 則文教授らの研究グループは、健診受診者の COVID-19 パンデミック前後における臨床検査データや生活習慣に関するアンケート結果を解析し、COVID-19 パンデミック後に MAFLD 患者が増加したこと、また、MAFLD 患者増加には夜食・飲酒・欠食（1日2食のみ）が関与することを明らかにしました。本研究結果は 2022 年 3 月 18 日に「Liver International」誌（IF=5.828）にオンライン掲載されました。

新型コロナウイルス感染症：パンデミック前とパンデミック中の生活習慣の変化





藤井 英樹講師

コロナ禍になってから、外来で『運動が減って太りました』という患者さんが増えています。今回の研究で、新たに飲酒や食生活の乱れが MAFLD 発症に関連する可能性が示されました。最近、脂肪肝（特に MAFLD）と言われた方は、是非これらの点も確認してみてください。

■掲載誌情報

雑誌名： Liver International (IF= 5.828)

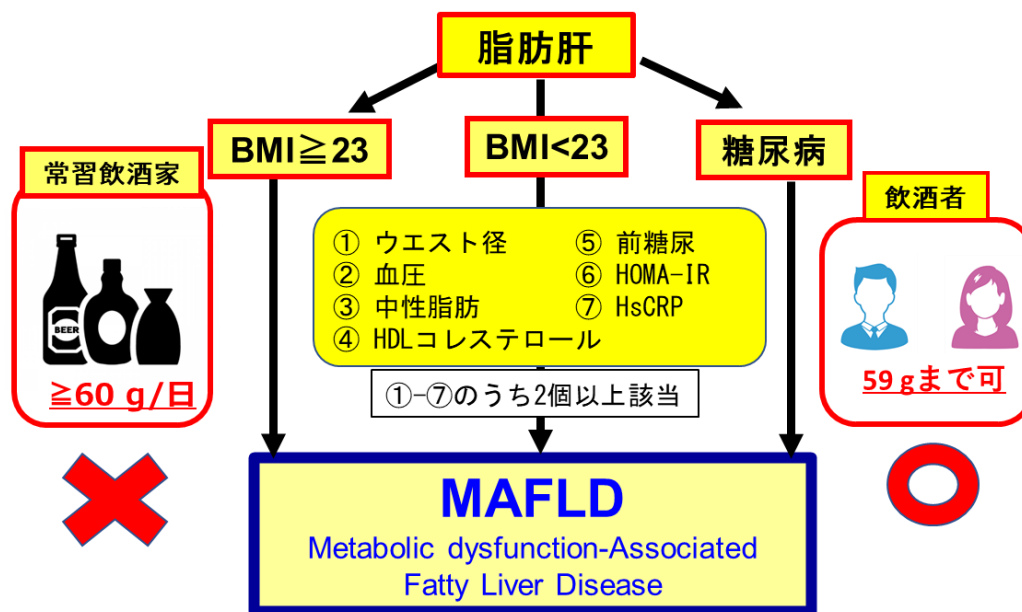
論文名： Lifestyle changes during the coronavirus disease 2019 pandemic impact metabolic dysfunction-associated fatty liver disease

著者： Fujii H, Nakamura N, Fukumoto S, Kimura T, Nakano A, Nadatani Y, Tauchi Y, Nishii Y, Takashima S, Kamada Y, Watanabe T, Kawada N

掲載 URL: <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/liv.15158>

<研究の背景>

2020年、世界22カ国の国際パネルは脂肪肝の新たな診断基準である代謝異常関連性脂肪肝 (metabolic dysfunction-associated fatty liver disease; MAFLD) の概念を提唱しました。下図に説明したように MAFLD は、脂肪肝に加えて a) 2型糖尿病、b) 肥満指数である body mass index (BMI) 23kg/m² の過体重/肥満、および c) 代謝異常の3項目中いずれか1つ以上を満たすと定義されています。MAFLD は生活習慣と密接に関連すると予想されますが、比較的新しい概念のため、どのような生活習慣の人がなりやすいかは不明です。更に、COVID-19 パンデミック前後で MAFLD 患者数が増加したのか、増加したのならどのような生活習慣の変化がそれに関連するのかについては、世界的にも全く報告はありません。



代謝機能障害に関連した脂肪性肝疾患

図. Metabolic dysfunction-Associated Fatty Liver Disease (MAFLD)

<研究の内容>

本研究グループは、あべのハルカスにある大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療部附属クリニック MedCity21 を COVID-19 のパンデミック前（2018 年-2019 年）とパンデミック後（2019 年-2020 年）に合計 3 回受診した 973 名の臨床データを縦断的に解析しました。パンデミック前には新たに 22 名の MAFLD 患者が、パンデミック後には新たに 44 名の MAFLD 患者が発生しました。パンデミック前には夜食（ハザード比 2.54）が、パンデミック後には飲酒（ハザード比 1.03）が MAFLD の発生に関与していました。興味深いことに、60 歳未満の人はパンデミック後に食事を欠食する人の割合が増加していました。本研究結果より、パンデミックが続く現在、特に 60 歳未満の方の生活習慣の変化を注意深く観察し、生活習慣の乱れがある方には積極的に指導を行うことが望まれます。

<今後の展開>

MAFLD の概念が新しく、生活習慣との関連を示したデータは少ないこともあり、今後更なる解析を進めてまいります。

<資金情報>

本研究は、科研費（非アルコール性脂肪肝炎の慢性炎症形成における赤血球、血小板の役割 [課題番号：17K09437]）の対象研究です。

【研究内容に関する問合せ先】

大阪市立大学 先端予防医療学

担当：講師 藤井 英樹

TEL：06-6645-2316

E-mail：rolahideki@med.osaka-cu.ac.jp

【ご取材に関する問合せ先】

大阪市立大学 広報課

担当：上嶋 ^{かみしま} 健太

TEL：06-6605-3411

E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp